



はっとり れおん
服部 侖音 ちゃん
令和2年3月5日
半城土西町



こんどう れいじ
近藤 玲示 ちゃん
令和2年3月6日
井ヶ谷町



いしかわ しょうま
石川 奨真 ちゃん
令和2年3月7日
春町



つかもと りょう
塚本 凌宇 ちゃん
令和2年3月9日
野田町

あつまれ かりやっ子

応募はこちらから
簡単にできます！



▲申込フォーム



おおた はるの
太田 暖乃 ちゃん
令和2年3月13日
大正町



くのはるき
久野 遥暉 ちゃん
令和2年3月22日
井ヶ谷町



あさの しゅんた
浅野 峻汰 ちゃん
令和2年3月23日
山池町



くぼ ちより
久保 千結 ちゃん
令和2年3月26日
東境町

渾身の個展開催!まだまだ目標へ向かって描き続ける



さのかずひこ
佐野和彦さん(76)
(日高町)

渾身の個展

「小さい頃から絵が好きで、子どもに絵を学ばせたくて教室に通わせ始め、気付いたら自分が教室に通っていた」と笑顔で話す佐野さん。自身の絵をより多くの人に見てほしいという思いから、8月、市内の喫茶店で「大きな絵手紙展」という個展を開催しました。

きっかけは遠くに住む義母のため

絵手紙を始めたきっかけは、鹿児島

県に一人暮らしをしていた義母のため。遠くてなかなか様子を見にいけないため、代わりに義母と郵便配達の人とのコミュニケーションをとれる機会を作るために絵手紙を送ろうと決意。孫のことや家に咲く花のことなど日常に溢れる題材で、1~2週間に1度絵手紙を送りました。義母が亡くなった今はファイルにとじ、思い出として大切に保管しています。



個展の作品の中に「絵手紙はちょっとめんどう しんどいけれどなぜか心が喜んでワクワクドキドキ踊ります。」と言葉をつづる佐野さん。絵手紙は墨を擦ったり、たった一言を熟考したり、長い時間がかかり面倒と感じる時もあります。

しかし、その分相手のことを思って筆を進め、自分が思った以上に描けたと感じた時は達成感を得られることが絵手紙の魅力だと話します。

80歳の記念に

現在、刈谷文協美術展などにも大きな絵手紙を出展し、より多くの人目に触れてもらえるよう絵を描き続けています。目標は80歳の記念に美術館で個展を開くこと。「自分には才能がないと常々思う。それでも絵と言葉には人一倍思いを込めます」と話す佐野さんの目は、若々しくエネルギーが満ちていました。大きな目標のため、今日も筆を走らせます。



いまだく用紙にご対応をお願いします。